

一年の計は元旦にあり

事務所が上野に移転し、今年で3回目のお正月を迎えた。

1月号への寄稿にあたり、事務所から少し足を延ばして浅草名所七福神を巡ってきた。

弁財天（芸術・学業）、福禄寿（財運招福）、布袋尊（子宝・良縁）、毘沙門天（勝運）、恵比寿（商売繁盛）、大黒天（五穀豊穣）、寿老人（長寿）の七柱。日本、中国、インドの神々が一堂に会す。

七福神巡りは、「徳川家康の信任厚かった天海僧正が七福神信仰を広め、江戸庶民に七福神巡りが親しまれるようになった」とも伝わる。宗教や価値観の違いから争いが絶えない地域もある世界の状況を思うと、日本文化らしい寛容さを感じる。

浅草名所は「九は数の極み、一は変じて七、七変じて九と為す。九は鳩であり集まる意味をもち、

総務部
田中 秀治
HIDEHARU TANAKA

また、天地の至数、易では陽を表す」の古事に由来し、九社寺から成る。

今回は弁財天を祀る吉原神社から歩き始め、国内外の観光客で賑わう

浅草寺、大根をお供えする待乳山聖天、「沖田総司終焉之地」の碑がある今戸神社などを巡り、九社寺目の寿老人の石濱神社まで、東京スカイツリーと下町情緒が織りなす景色を眺めながら、約6.5km、2.5時間の行程を楽しんだ。

一年の計は元旦にあり。

今年は幾つか運動することにチャレンジしたい。その一つに「○○歩き」も加えよう。



編集後記

明けましておめでとうございます。

新年号にあたり、環境省環境再生・資源循環局の角倉局長、同局大川廃棄物規制担当参事官より年頭のご挨拶をお寄せいただきました。

本号の事業報告では、第8回を迎える三国間ネットワーク会議の開催報告をしております。電子マニフェストを軸としたデジタル化や廃棄物管理の高度化に関し情報交換を行い、今後も関係を維持し、資源循環に向けた電子マニフェストの強化を進めてまいります。

「コラム」では、ミダックグループの安全衛生に関する取組みを紹介いただいています。事故・災害の発生時には4Mの要因を分析し原因やリスクを整理し再発防止を行うなど、従業員が安全に働くことができる環境を整備されています。4回にわたりご執筆いただきました加藤様に感謝申し上げます。

「連載講義」では、「廃棄物資源循環政策」と「地球温暖化対策」の変遷等について解説いただき、これらが統合化され循環経済政策へ進展していく新たな変革期にあるとされています。大迫様の連載は最終回となります。第1回では福島の環境再生の状況についてご解説いただきました。6回にわたり、広範囲で複雑なテーマについて、読者の方に向けて分かりやすくご解説いただき感謝申し上げます。

「欧州の最新動向」では、エネルギー転換の潮流として、需要と供給の時間的ミスマッチといった課題がある中で注目される次世代のエネルギー調達基準について紹介されています。

最後に、本誌作成にあたり取材にご対応いただきました皆様、編集にご協力いただきました皆様、本誌を読んでいただいた方に心から感謝申し上げます。(広報室)

■本誌に関する連絡先：総務部広報室（e-mail:jigyo@jwnet.or.jp）

<アンケートへのご協力のお願い>

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。

本誌に関するご意見、ご要望を是非、お聞かせください。

URL https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi_kikansi_anq/index.html

JWセンター情報（季刊）VOL.25 NO.4

発行日：2026年1月15日発行 発行人：関莊一郎

発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒110-0005 東京都台東区上野三丁目24番6号

上野フロンティアタワー13階

TEL: 03-5807-5911 FAX: 03-5807-5912

<https://www.jwnet.or.jp/>

デザイン・印刷：株式会社太陽美術